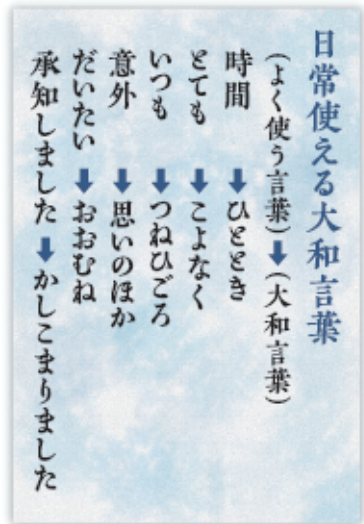


皆さま、元気でお過ごしでしょうか?暮らしと住まいを快適にするためのちょっと役立つ情報をお届けします。今回のテーマは「素敵な言葉で心を伝えよう」です。

年末年始は旧交を温める季節でもあります。季節の挨拶、お世話になった方へのお礼など、便りを交わす機会も増えるでしょう。旧来、便りといえば書状でしたが、今は伝える手段もさまざま。時と手段に応じた言葉の使い方やマナーなど、洗練された大人の作法を身につけましょう。



大和(やまと)言葉を知っていますか?



気持ちを伝えるために是非使って欲しいのが大和言葉。これは日本に古くからある固有語のこと。漢語や外来語と区別してこう呼ばれています。やわらかく優しい印象の言葉が多く、文章の中にさりげなくちりばめると好印象に。

今や大人の常識! メールやSNSのマナー

電子化の時代、メールやSNSでのコミュニケーションも当たり前になりました。基本的なマナーや常識も知っておきましょう。

メールは出来るだけ簡潔に。挨拶(名乗り)、用件、結びの言葉で構成して。挨拶文は定型のものをいくつか控えておくとう便利です。

絵文字や顔文字の多用は大人のマナーとしてはNGです。

また、SNSでは個人情報の取扱いに注意を。プライベートな話題に触れたり、写真を許可なく公開するのはやめましょう。

時代に合わせて言葉もそれを伝える手段も変化しますが、大切なのは相手を思いやる心。素敵な言葉で気持ちを伝えましょう。

今も昔も変わらず、便りは人と人とのつながりを深め、暮らしを豊かにしてくれるもの。この機会に「言葉のコミュニケーション」を見直してみませんか。

◆暮らしメモ◆

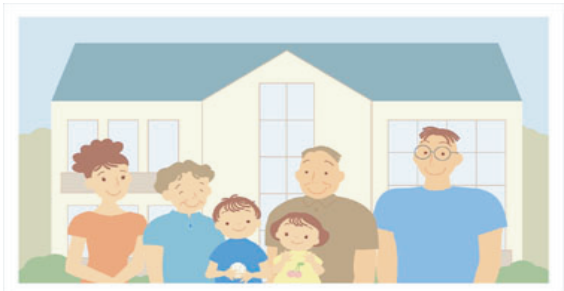
●書き物に、手芸に自分だけの書斎スペースを

手紙を書いたり、パソコンを使って創作したり、ハンドクラフトを楽しんだり——インドアの趣味を充実させるために、自分だけのワークスペースを持ってみませんか。

もちろん、大げさな書斎である必要はありません。リビング、ダイニング、キッチンスペースのどこかに、趣味も家事もはかどる、あなただけの「居心地よい場所」を作ってみるのはどうでしょう。

たとえば、自分専用のライティングデスクを持つのもいいアイデア。また、キッチンカウンターがあるなら、その一角を自分のスペースにしてしまうのもおすすめです。いつも過ごしている生活空間をもっと柔軟に、開放的に使ってみましょう。

本格的でなくても、広くなくても、「自分だけ」のスペースというのは、落ち着くものです。きっと集中力も高まります。この冬はすてきなプチ書斎で、充実したひとときをお過ごしください。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898)36-8182
FAX (0898)36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp